

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
主管課名	水道課		
関係課名			

施策が目指すすがた	・安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。		
-----------	---------------------------------	--	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・水道水を大切に使います。
	行政	・水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 ・水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 ・老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。
	その他(地域)	

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」</p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.730</td> <td>0.612</td> <td>0.643</td> <td>0.402</td> <td>0.909</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.730	0.612	0.643	0.402	0.909	
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.730	0.612	0.643	0.402	0.909								
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0.766</td> <td>0.846</td> <td>0.659</td> <td>0.717</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		0.766	0.846	0.659	0.717		
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
	0.766	0.846	0.659	0.717								

施策のトータルコスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	1,154,604	1,012,755	822,675	849,577	
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	233,759	334,072	336,530	399,143	
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	920,845	678,683	486,145	450,434	
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	28	26	37	39	
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	17,860	17,300	18,000	17,960	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	78,566	72,556	78,876	75,091	
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	1,233,170	1,085,311	901,551	924,668	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	26,054	22,998	18,888	19,688
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上	円	—	—	1,773	1,648	1,811	1,740
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)							
同上	円	—	—	27,827	24,646	20,699	21,428	
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)								
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	4,181
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	43,152

基本事業概要シート①

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
基本事業名①		水道施設の整備	
基本事業①の目的(意図)		施設の増設、配水管布設により給水可能な区域の拡大を行います。老朽化した施設や管路を計画的に更新します。管路の布設等では、耐震性の優れた構造とします。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【拡張事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六郎丸低区配水池を整備中であり、平成29年3月完成を目指しています。 <p>【増補改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加積、大町地区を中心とした老朽化管路の耐震管への更新事業を実施しました。 <p>【簡易水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から実施している升方簡易水道の老朽管更新事業を引き続き実施するとともに、升方地内増圧ポンプを設置しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
管路の更新率	%	0.76	0.9 0.6	1.0 1.0	1.0 0.9	1.0 0.7	1.0 0.7	1.0 0.6	1.0 1.0
管路の耐震化率(平成17年度からの耐震化)	%	9.50	10.5 10.4	12.0 11.7	13.0 12.8	14.0 13.6	15.0 14.3	16.0 14.8	22.0

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道事業	70,000,000	60,185,160	9,814,840	B	水道課
2	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業	200,360,000	151,289,640	49,070,360	B	水道課
3	水道企業会計(資本的支出)	○ 拡張事業	275,211,400	187,668,194	87,543,206	B	水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			545,571,400	399,142,994	146,428,406		

基本事業概要シート②

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
基本事業名②		安定した水道事業経営	
基本事業②の目的(意図)		安全な水道水を安定して供給するためには、健全で安定した経営を継続していく必要があります。このため、計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めます。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		【水道管理運営事業・簡易水道管理事業】 ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替を行いました。 ・上水道及び簡易水道利用者に対する使用料の請求及び徴収業務を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
料金回収率	%	105.1	105.0	104.0	104.0	103.0	103.0	102.0	110.0
			107.5	106.0	104.1	106.4	104.6	108.9	
給水栓数	栓	14,270	14,300	14,340	14,380	14,420	14,460	14,500	14,700
			14,302	14,403	14,552	14,708	14,695	14,679	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道管理事業	12,760,000	12,162,532	597,468	B	水道課
2	水道事業会計(収益的支出)	○ 水道管理運営事業(ボトルドウォーター事業分除く。)	509,467,000	438,271,795	71,195,205	B	水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			522,227,000	450,434,327	71,792,673		

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
27年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水道管路の耐震管への更新については、目標1.0%に対して結果0.6%と目標を達成できませんでした。 ◆有収率は、83.18%(H26年度:84.29%)で、減少の原因は漏水等と考えられ、老朽管の更新や適切な維持管理に努める必要があります。近隣他市と比べると、ここ5年間では中位の比率です。 ◆平成26年度の市民意識調査で実施した「地震などの災害に備えるために水道料金を値上げしても給配水管の耐震化を進めるべきでしょうか。」との質問への肯定的な回答率は、38.3%にとどまりました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆料金回収率は、108.87%(H26年度:104.55%)で100%を超えていることから、経営に必要な経費を利用料金で賄っています。近隣他市と比べると、ここ5年間では中位の比率です。 ◆水道料金は、平成10年4月以降据え置いています。家庭用料金(20㎡/月)では、県内12事業者では4番目の低さです。しかし、近隣他市が県内では最低の料金設定(下から1番目と2番目)と極端に低額の料金となっているため、住民の期待には十分に当たっているとは考えられません。(参考)3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金 魚津市2,640円、黒部市1,370円、滑川市1,852円、県内12事業者平均2,958円(H26年度末現在) 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆上水道事業では、平成16年3月に事業認可を受けた第4次拡張事業計画(H16～H29年度)及び平成24年度に策定した水道のあるべき将来像の実現のための具体的な施策や工程を提示する「水道ビジョン(H24～H33年度)」に基づいて事業を進めました。 ＜増補改良事業＞ ◆大町、加積地区を中心とした老朽化管路の耐震管への更新事業を実施しました。 ＜拡張事業＞ ◆平成24年度に着手した六郎丸低区配水池整備事業では、平成27・28年度の2か年で配水池築造・機械電気計装設備及び場内配管布設を行っています。 ＜簡易水道事業＞ ◆平成25年度に着手した升方簡易水道の老朽管更新事業を引き続き実施しました。平成28年度事業をもってひとまず概成の予定(一部工事は東蔵簡易水道の老朽管更新事業の終了後に先送り)としています。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜水道管理運営事業・簡易水道管理事業＞ ◆水道ビジョンに掲げた施設整備計画及び計画を実施するために必要な財源を示す財政計画を盛り込んだ「水道事業経営計画(H27～H36年度)」に基づく経営に努めました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営計画に掲げた施設整備を進めます。 ◆低区配水池整備に重心を置いて水道施設整備を実施します。 ◆管路の更新率1%(更新サイクル100年)をひとつの目安として、老朽管の更新を実施していきます。 ◆東蔵簡易水道の施設更新工事を引き続き実施します。事業期間は、3か年を予定しています。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営計画に掲げた経営目標の達成に努めます。 ◆経営計画作成過程において行った経営分析では、経営状態は「黒字ではあるものの、企業債に大きく依存した体質である。」ことが明らかになりました。このため、従来から95%としてきた建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制することで、企業債残高の適正化を図ります。 ◆簡易水道料金に関しては、平成27年度の給水原価241.90円/㎡に対して供給単価は101.53円/㎡であり1㎡当り△139.77円の逆転現象(料金回収率42.0%)が生じているので、改善に向けた取り組みを進めていきます。 ◆平成27年1月27日総務大臣通知により、簡易水道事業については平成32年4月までに公営企業会計に移行するよう要請されていますので、地方公営企業法の適用に向けた準備作業を進めます(H29・H30年度の2か年で移行作業を行う。) ◆市民意識調査からは安易に料金改定ができる状況ではないと考えられますが、給水人口や使用水量の減少に伴う料金収入の減少等により経営環境は厳しい状況にあり、企業債の抑制によって経営状態が改善されない場合や、経営が赤字化するおそれがある場合は、料金の見直しを行う必要があります。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	◆経営基盤の強化と業務の効率化に努めるとともに合理的・効果的な施設整備を進めることにより水道の運営基盤の強化を図り、安全でおいしい水道水を安定的に供給し続けること。
---	--

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	◆経営基盤の強化と業務の効率化を図り、合理的・効果的な施設整備を進め、運営基盤を強化し、安全でおいしい水道水を安定的に供給します。
---------------------------------	---

28年度開始 の第10次基 本計画におけ る対応施策	施策No.	施 策 名	基本事業①	水道施設の整備
	17	水道水の安定供給	基本事業②	安定した水道事業経営
			基本事業③	
			基本事業④	
第9次基本計 画からの変更 点	施策No.繰上げあり。			